

● 2016 年の世界の主な火山活動

平成 28 年 (2016 年) に噴火が報告された主な火山 (日本を除く) *は図のとおりである。
このうち顕著な活動がみられた火山は以下のとおりである。

ボゴスロフ (Bogoslof) アメリカ (図中A) 標高 150m

アラスカ火山観測局によると、12 月 20 日と 21 日には、火山灰を含む噴煙がそれぞれ海拔 10.3km、
海拔 10.7km まで上がった。噴火はその後も続き、12 月 23 日と 26 日にも、火山灰を含む噴煙が海拔 9.1km
まで上がった。

コリマ (Colima) メキシコ (図中B) 標高 3,850m

噴火が続くコリマでは、9 月 30 日に、噴煙が海拔 5.8km まで上がり、西に 35km 流れた。10 月 1 日、
コリマ州政府は、310 人の住民を避難させたことを発表した。

シナブン (Sinabung) インドネシア (図中C) 標高 2,460m

噴火が続くシナブンでは、5 月 9 日に発生したラハールで、1 人が死亡し 4 人以上が負傷、1 人が行
方不明となった。また、5 月 21 日には火砕流が流れ下り、6 名が死亡し、3 人以上が重体となった。

ツングラウア (Tungurahua) エクアドル (図中D) 標高 5,023m

エクアドルの国立研究所によると、2 月 26 日に発生した噴火で、火山灰を含む噴煙が 8 km まで上っ
た。また小さな火砕流が発生し、西側と北西側の山腹を半分程度まで下った。噴火はその後も翌月にか
けて続き、南西から北西にかけての地域で降灰が毎日観測された。

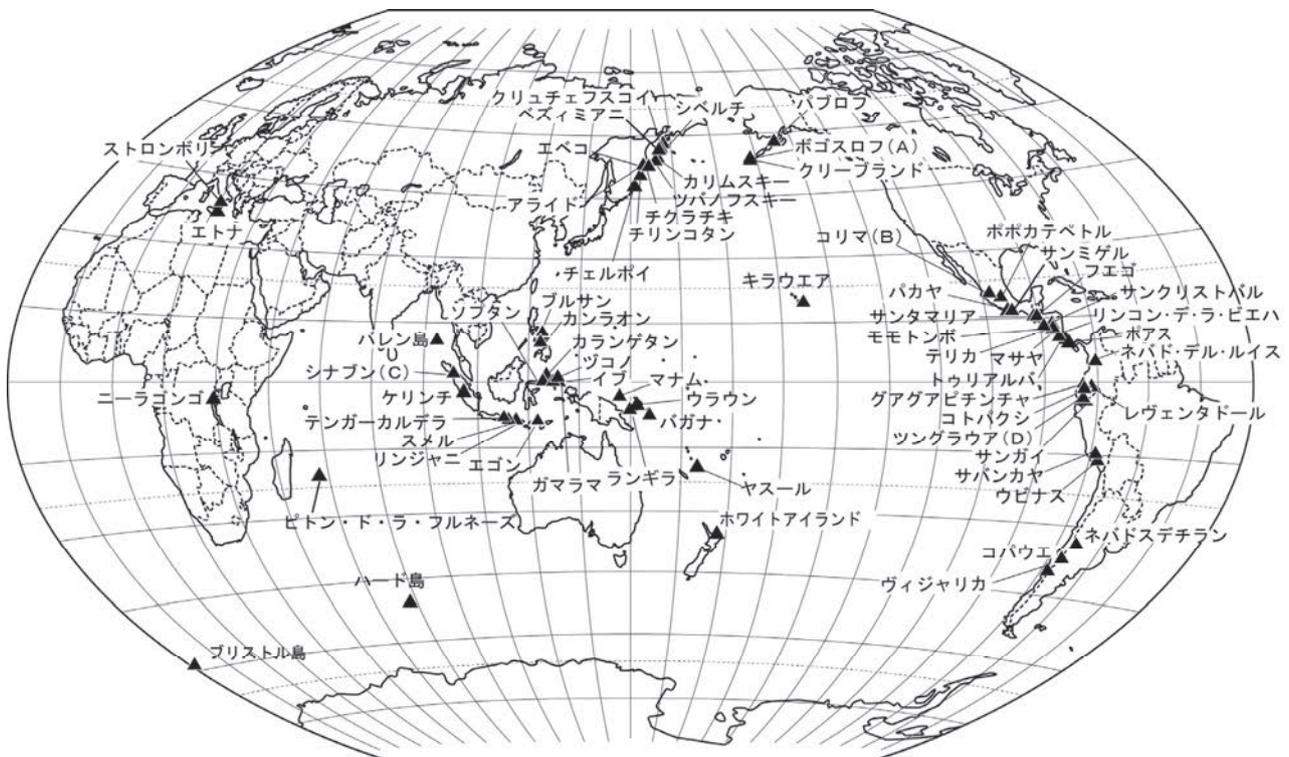


図 平成 28 年 (2016 年) に噴火した主な火山 (日本を除く) *

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁:「火山観測指針 (参考編)」による。